

さらなる子育て支援充実を

これから4年の伊丹市政に必要なこと

安心して医療が受けられるように

教育を受けながら伊丹

子ども医療費無償化のさらなる拡充を

新・市立伊丹病院を建設し伊丹の医療環境を充実しようとする今こそ実施していくべきです。令和5年度当初予算案で拡充された子ども医療費無償化を歓迎します。まだ助成制度が無いところへの支援創設を訴えています。ただ、住む地域によって差が無いようにするため、日本国政府への働き掛けも行っています。

今の時代に合わせた教育環境を デジタルを活用した教育のさらなる推進へ

ICT機器の利用やリモート授業が学力向上の特効薬ではありません。機器はあくまでツールです。しかし、コロナ禍を経て、ICT機器やリモートといったデジタルを活用した教育が進んでいます。また、市教委もデジタルの活用と学力の相関関係を示しました。その中で、今でも授業での利用割合が週に1回も無いことは驚きです。学校教職員の負担軽減を図るのは、子どもと向き合う時間や授業研究の時間を作るためでもあります。教委と学校と教員が一丸となった、デジタルを活用した教育のさらなる推進に努めます。

令和4年度調査

これまでに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度利用しましたか

	ほぼ毎日+週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満
小学校	78.1%	13.7%	5.0%	3.2%
中学校	84.7%	10.8%	2.7%	1.7%

そのままそっくり目指すべきではない明石市政

子育て支援策を充実した泉氏の明石市政が注目を浴びていますが、その検証が様々なところからなされています。隣市岡田康裕加古川市長が「明石市の好循環は本当なのか」と題した記事を書き、「子育て支援策により人口が増え収入が増えた」という泉氏は主張しているが、日本全体の景気による影響が大きい」とのコメントをしています。

明石市と伊丹市の比較でも、個人市民税では平成25年度と令和3年度の決算比較で明石市が1.10倍で伊丹市が1.08倍とさほど変わりません。明石市立幼稚園PTA関係の方から、園備品の老朽化への対策などを訴えた請願書が明石市議会12月定例会に提出され、採択されています。また、施設や上下水管の安全・老朽化

対策も進められていないのではないかと指摘がされています。明石市政に言えることは、増えた税収以上に、特化した部分への子育て支援策を行っていると言えます。市政は、子育て関連政策でも360°を見渡さなければなりませんし、政策そのものが全方位を見渡さなければなりません。そして、財政状況を鑑みた上での実行が不可欠です。伊丹市政はバランスを取りながらの着実な市政を行っています。このことはこれからも続けていくべきです。その上での、教育・保育・出産子育て・見守りといった子育て支援策を充実させていかなくてはなりません。

健やかに過ごすことができるように

これから4年の伊丹市政に必要なこと

さらなる医療環境の充実を目指して

新・市立伊丹病院の建設に向けて取り組みます

	平成26年度 病床数	令和7年度 必要病床数	過不足数
高度急性期	25	497	▲472
急性期	3461	1890	1571
回復期	391	1718	▲1327
慢性期	2815	2465	663

左表は兵庫県地域医療構想における阪神北圏域での必要病床数の推計です。今までの医療の必要状況や今後の年齢構成を基に推計しており、高度急性期病床が必要なことが分かります。

阪神間での高度急性期病院は尼崎市と西宮市に存立しています。伊丹の医療環境を充実させるために、新・市立伊丹病院の建設は必要不可欠です。共に急性期病院である現・市立伊丹病院と近畿中央病院がこのままでは共倒れになることから、両病院が統合しての病院設立が求められていました。

伊丹に医療空白を生まないため、新・市立伊丹病院の設立を推進していきます。

体の健康づくりができるように

医療・歯科口腔・薬科の分野と協力しての健康づくりを進めます

いざ病気になったときのための医療政策も必要です。一方、医療に掛らなくてもよいための健康づくり政策も必要です。伊丹市行政は昨年に新しい保健センターを設立しました。健康の拠点として期待できるとともに、市民のみならずが体の健康づくりに取り組めるよう、医療分野や歯科口腔分野や薬科分野の方々の協力を頂きながら健康づくり政策を進めていきます。

誰もが気軽にスポーツを親しめるように

体の健康とスポーツの相関関係はみなさまご存じの通りです。誰もが気軽にスポーツに親しめるよう、スポーツ関係団体と協力していくことはもちろん。環境整備として、体育館の空調整備など、施設整備面でも後押しできるよう取り組みます。

こころの健康づくりができるように

ハイリーセンシティブパーソンなど 新たに分かりつつある こころや気持ちの課題に取り組みます

ハイリーセンシティブパーソンとは簡単に言えば「とても感受性が強く敏感な人」であり「過敏性症候群」ということができます。今までよく分からなかったことが研究が進むにつれ分かってきたことがあります。「生きづらさ」を感じていても「誰にもわかってもらえない」はその人にとってとてもつらいです。これらのこと以外にも、こころや気持ちで悩まれる方がいらっしゃると思います。そのような事があっても寄り添って相談に乗り、適切な機関に繋ぐことができる取り組みを推進していきます。

伊丹市議会議員



100年後の市民が「住んで良かった」と思えるまちづくり

動く 創る 伝える

積極的な研修参加や地域での活動を通じて、先端の政策を得たり、地域の課題を把握したりしています。また時に政策実現のため、関係各所への働き掛けも行っています。

研修や地域での活動から得たものを政策立案に活かしています。

議会で訴えたことや市政について、広報誌や報告会やSNSを通じて発信しています。

杉一 を支援してください

- ▶ 報告誌配布での支援
- ▶ 各 SNS の登録
- ▶ 報告会・懇談会・座談会の開催での支援

Profile

- 昭和55(1980)年4月18日生まれ
- 昭和62(1987)年3月 白ゆり幼稚園卒園
- 昭和62(1987)年4月 荻野小学校入学
- 平成5(1993)年3月 花里小学校卒業
- 平成8(1996)年3月 松崎中学校卒業
- 平成11(1999)年3月 伊丹西高校卒業
- 平成15(2003)年3月 神戸学院大学法学部卒業
- 平成15(2003)年4月 尼崎信用金庫入庫
- 平成18(2006)年6月 尼崎信用金庫退職
- 平成19(2007)年4月 伊丹市議会議員選挙初当選以後今までに4回当選

議会役職

- 総務政策常任委員会委員
- 議会運営委員会委員
- 市立伊丹病院検討特別委員会委員
- 豊中市伊丹市クリーンランド議会副議長
- 議員定数等調査検討特別委員会委員長

杉一は
こちらで
発信しています

- 公式Facebookページ
- 公式LINEアカウント
- 公式youtube
- 公式ホームページ
- 市議会ホームページ

杉一の議会報告

100年後の市民が「住んで良かった」と思えるまちづくり

議会報告会&意見交換会

杉一個人として行います

令和4年5月発行

令和4年7月発行

令和4年11月発行

令和5年1月発行

バックナンバーをご希望の方はお気軽にご連絡ください。

連絡先

電話：090-1136-3129
メールアドレス：itami@sugi-hajime.net

発行日/令和5年2月28日 発行者/すぎはじめ後援会

訂正資料

令和5年度当初予算案【子ども政策の充実】

令和5年第1回定例会【3月議会】議案審査

子ども医療費無償化拡充 令和5年7月から実施

中学生までの通院入院にかかる医療費助成の所得制限撤廃&高校生等の入院費無償化			
年齢(学年)	通院	入院	所得制限
0歳	無償	無償	所得制限なし
1歳~中3	無償	無償	所得制限あり→ 所得制限なし
高校生	助成制度なし	助成制度なし→ 無償	所得制限なし

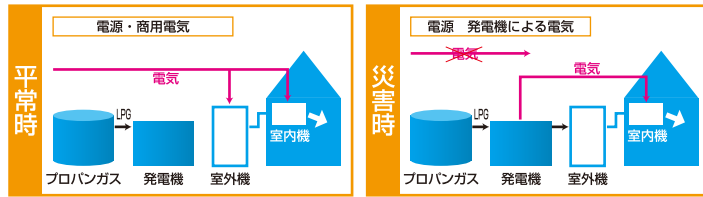
赤字で記したところが**変更点**。伊丹市行政も市税収入の増加や基金の状況から子ども医療費助成の拡充を取り組みます。**全ての子どもたちに支援が行き届くよう所得制限を撤廃しました。**

共働き家庭への支援が拡充します 令和5年9月から実施

第2子の保育料無償化事業		
所得基準(目安)	第1子が就学前	第1子が小学生以上
年収360万円未満	第2子 半額→ 無償化	第2子 半額→ 無償化
年収360万円以上	第2子 半額→ 無償化	第2子 全額

赤字で記したところが**変更点**。所得に関わらず**第2子の保育料を無償化**します。また、一定の所得基準未満の世帯については、年齢制限を撤廃し無償化します。第3子以降保育料や3・4・5歳児保育料など既に国の制度で無償化の部分があります。

災害時のためにも普段の学校活動のためにもより安心できるように



学校体育館に空調が整備されます
避難所指定の**小学校体育館**に**空調機器**を設置し、発災時は3日間の自立運転可能な環境を整備するほか、避難所生活における市民の健康配慮等、避難所環境の充実を図ります。
令和5年度は1校をモデル事業(実証実験)として設計及び施工を行います。

令和5年度予算案は市議会定例会で審査されます。2月28日~3月3日本会議質疑質問3月8日~3月15日委員会審査

まちのにぎわい活性化

これから4年の伊丹市政に必要なこと

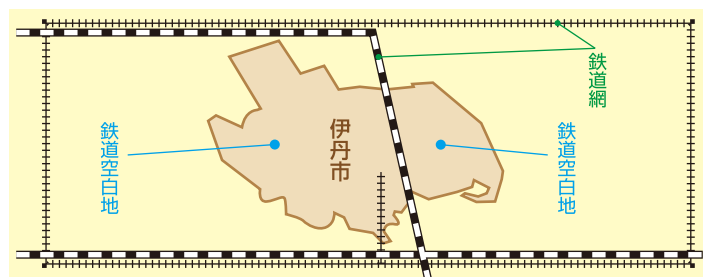
まちの活力向上に向けて

世界の大都市圏の空港の比較【コロナ禍前】			
	人口	空港	国際線就航空港
大阪都市圏	1,770万人	3	1
ロンドン都市圏	1,470万人	5	5
ニューヨーク都市圏	2,240万人	3	3

伊丹空港の国際線就航を目指します
今のビジネスは世界と繋がっています。また、海外旅行者も海外からの旅行者も増加傾向にありました。それは、**空港の国際線がまちの活力に繋がる**ことを意味しています。
新型コロナウイルス感染症の影響により、航空そのものが大打撃を受けました。しかし、**世界的な人の流れや物の流れが活性化してくる兆し**が出てきています。近々コロナ禍前を上回る流れが生まれてくるでしょう。
その背景からも**伊丹空港での国際線就航**を訴えていきます。近い将来に神戸空港での国際線就航が実現しますが、伊丹市行政も杉も旗を降ろしません。
左の表のように、**大阪都市圏の経済規模と人口規模で、複数の空港で国際線が就航しているのは世界的に当たり前**です。



市内どこに住んでも交通の利便を受けられるように

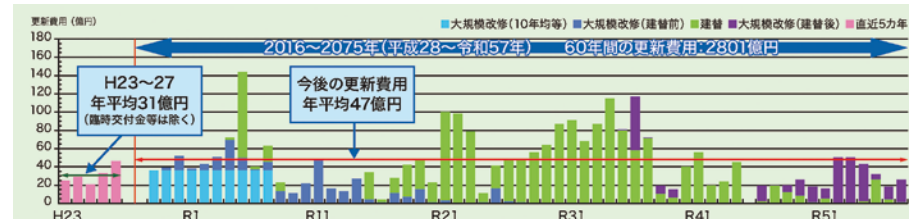


市バス交通政策に取り組みます
鉄道空白地の多い伊丹市域では、**バスのみが交通機関**となります。よって、**バス網を張り巡らさなければ市民の足は確保できません**。
交通網は地域活性化には不可欠であり、**そのための市バスが必要**です。経費の精査をしつつ料金見直しも含めて経営改善を図り、**安定的な市バス経営**に向けて取り組みます。
そして、高齢ドライバーによる事故が全国的な社会問題化している中、運転免許を返納しても、市内の移動に支障を来さないようにするため、**市バス高齢者無料バスは継続**すべきです。

さらなる安全・安心を実現していく

これから4年の伊丹市政に必要なこと

伊丹の公共施設のこれからの更新費用【未来に負担を残さない公共施設マネジメント】



伊丹市建物施設の更新費用予測
仮に全ての建物施設を耐用年数経過時に単純更新した場合の費用は、**30年間で約2,005億円**と見込まれました。**今後の年平均の更新費用も今までより高くなります。**

つまりは**公共施設の再編・統合・複合化**は避けて通れません。医療や災害時の拠点という分野は絶対不可欠な施設であり、これらの機能を果たす新病院や新庁舎には投資を行いました。一方で、共同利用施設や文化施設のように、**現に再編・統合・複合化**が行われている施設もあります。

杉は伊丹市議会において初めて公共施設マネジメントに言及しており、特に注力している政策です。**これからも施設再編の実行を推進**していきます。

他方、公共施設マネジメントには**安定的なインフラ整備**も含まれています。上下水道管など、市民生活に不可欠なインフラの整備も、**計画的かつ安定的に実行**していくことで、**安全・安心に過ごせられる都市基盤整備**にも努めていきます。

いざというときの安全安心



災害対応に新たな視点を
乳幼児も高齢者も障害者も妊産婦も性的少数者も。災害が起こっても**みんながなるべく過ごしやすい環境**を作らなければなりません。
写真のような避難所では、乳幼児の泣き声に気を遣う、授乳の場所に困る・障害者が混雑するまたは通行できない、下着が干せない、異性と同一空間に過ごさなければならない。といったように、大きな一つの空間での共同生活では、**様々なことへの配慮が必要**になります。
「災害時だから受け入れて」が前提になるのではなく、「**災害時でもなるべくいつものように過ごせられる環境づくり**」が必要です。

誰一人取り残されない人に優しいデジタル政策

これから4年の伊丹市政に必要なこと

くらしが変わるデジタルトランスフォーメーション

デジタル化が進むことでくらしの様々なことが進みます。



医療・救急搬送・災害時・交通の利便性とデジタルの進展は確実に暮らしを便利にできます。まだ実現していないとはいえ、近い将来に現実のものとなる可能性を秘めています。
デジタルの進展によって開かれる希望があります。

PHRとは：生涯にわたって保持する電子カルテのことです。個人の健康に関する医療情報・データを記録し、クラウドなどを通じて一元的に管理します。

誰もがデジタル化の恩恵を享受できるように

これでは、デジタルに慣れていない方には難しく操作できませんね。



このようなスマートフォンであれば使いやすいのではないのでしょうか？
誰もがデジタル化の恩恵を享受できるようにならなければなりません。